

2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ANAP
 代 表 者 名 代表取締役社長 家高 利康
 (コード：3189・東証スタンダード)
 問 合 せ 先 専務取締役 管理本部長 竹内 博
 電 話 番 号 03-5772-2717

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月20日付で東証スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、同日その内容について「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」（以下、「適合に向けた計画書」といいます。）として開示しておりましたが、2022年8月31日時点における上場維持基準の適合状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場基準維持への適合状況の推移

当社は、新市場の移行基準日（2021年6月30日）時点においては、東証スタンダード市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」について基準に適合しておりませんでした。この度、2022年8月31日時点において、同市場の上場維持基準の全項目で適合いたしました。

当社といたしましては、現在着手している業績再生のプロジェクトを推進するとともに、2022年10月14日に公表した通期連結業績予想を達成し、黒字回復を実現することでより高い評価を得られるように邁進してまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価 総額	流通株式比率
当社の適合 状況及び その推移	2021年6月30日時点	3,217人	22,211単位	854,977,240円	46.1%
	2022年8月31日時点	3,710人	26,125単位	1,032,416,161円	52.5%
上場維持基準		400人	2,000単位	1,000,000,000円	25.0%
2022年8月31日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況を基に算出を行ったものです。
 流通株式時価総額は、流通株式数に事業年度の末日以前3か月間の日々の株価終値の平均値である395.17円を
 乗じて算出しております。

2. 上場維持基準適合に向けて実施した当社の取り組み

当社は、「適合に向けた計画書」に基づき、以下の取り組みを行ってまいりました。

(1) コスト削減

2021年8月期より取り組んでいる全社的なコスト削減を継続しつつ、2022年8月期においても、不採算店舗の運営見直しや、本社ビル含めた地代家賃の減額交渉などに取り組んでまいりました。

(2) チャネル戦略

店舗販売事業については、好条件の店舗出店を再開しており、業績及びブランド価値の向上に寄与するよう取り組んでまいりました。インターネット販売事業においては、自社サイトのリニューアルなど顧客満足度を高める施策を実施いたしました。

(3) 商品・マーケティング戦略

外部の著名インフルエンサーを起用したライブコマースの実施や、株式会社東京通信のグループ会社とライブコマースに特化した合弁会社を設立するなど、ライブコマースの事業展開を加速させてまいりました。

上記のような施策を行った結果、前期に比べて損失額は改善いたしました。当初の想定よりコロナ感染症拡大の影響が長期化し、2021年10月12日公表の連結業績予想に対して2022年4月11日に修正予想を発表し、最終的な実績は修正予想に対しても大幅に下回る結果となりました。

一方で、2022年8月期中にメタバース関連事業に積極的に進出したことや、従前から取り組んできたライブコマースを加速させるべく、株式会社東京通信のグループ会社とライブコマースに特化した合弁会社を設立する施策も実施いたしました。

こういった新規施策が株式市場に評価されたことも、今回の上場維持基準の適合に至った要因の一つであると考えております。

また、財務面においては、2022年8月に資本金劣後ローンによる3億円の資金調達実施に加え、2022年10月14日に公表した通り、第三者割当増資による新株式及び新株予約権の発行により最大約7億円の資金調達も予定しております。成長のための資金を確保しつつ、当面の資金繰りに支障をきたさない水準を確保できました。

前述の「適合に向けた計画書」に記載した施策を継続して取り組むとともに、新たな施策についても積極的に推進してまいります。安定した財政面を背景に、事業の回復を図ることで上場維持基準に適合した状態が継続できるよう企業価値の向上に邁進してまいります。

以 上

【ご参考：連結業績数値】

(単位：百万円)	2022年8月期予想 (2021年10月12日)	2022年8月期修正予想 (2022年4月11日)	2022年8月期実績 (2022年10月14日)	2023年8月期実予想 (2022年10月14日)
売上高	6,428	5,700	5,059	5,600
営業利益又は損失	137	△144	△424	44
経常利益又は損失	142	△146	△447	31
当期純利益又は損失	126	△195	△525	20